

第134期

# 事業報告書

平成15年 4月 1 日から平成16年 3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援をたまわり厚くお礼を申し上げます。

ここに当社第134期（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、米国並びに中国の景気の好調さに引っ張られる形で、特に期の後半になり鉄鋼、自動車、家電などの製造業が、輸出を中心として活況を呈してまいりました。また、ここ数年来続いておりました金融不安に対しましても、株高などの後押しもあり一応の目処が付きつつあります。

このような状況の中で、当社は創業90周年を迎え、好況業種に積極的にアプローチを図ると共に社内の合理化を推し進めてまいりました。下期になりセラミックス、エンジニアリング両部門共に受注が好転し、期末には売上面でもその効果があらわれてまいりました。

この結果、受注面では前期比18.6%増の68億4,120万円、売上高は同12.1%増の64億6,084万円となり、受注、売上共に前期比2桁の伸びとなりました。

部門別では、セラミックス部門は特に蛍光体、電池材料などの熱処理用容器が年間を通して好調でありました耐熱セラミックスを中心に、前期比15.2%増収の46億4,085万円となりました。

なお、主な市場別による分野では、電子部品向けが47.8%、化学・窯業・鉄鋼向けが17.1%と、売上高は増えたものの構成比率を僅かに下げたことに対し、水処理用チューブなどが大幅に伸びた環境・エネルギー向けが、売上高で前期比63.3%の増収となり、構成比率も11.2%と初めて2桁を記録いたしました。

次にエンジニアリング部門は、下期になり加熱装置を中心に受注、売上共に伸ばしましたが、通期では売上高は前期比5.1%増収の18億1,999万円にとどまり、セラミックス部門に比べ、回復がおくれた格好になっております。

なお、市場別による分類では電子部品向けが28.8%、自動車・重機向けが21.7%、半導体向けが21.6%を占めております。

営業利益は、前述いたしました通り売上高が前期比2桁の伸びを示す中で、売上原価率が2.1%、販売管理費比率も1.3%それぞれ前期比減少いたしました結果、7億1,522万円、前期比60.6%の増益となりました。

経常利益は、中間期で計上いたしておりました「地域新規産業創造技術開発補助金」で購入いたしました資産を、期末で圧縮記帳処理をいたしました結果、7億2,597万円、前期比54.6%の増益となりました。

当期純利益は、3億6,163万円、前期比153.1%の増益となりました。

当期の配当金につきましては、以上の結果を踏まえ、1株につき普通配当4円に先に発表いたしました創業90周年の記念配当金2円を加え期末6円とし、中間配当金と合わせまして年10円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、徐々に国内景気が上昇基調になり、製造業以外の分野におきましても明るい兆しが見えてまいりましたものの、中国の経済過熱の影響で、原材料価格が大幅なアップとなっております。また一方では、デフレ圧力は厳然として続いており、利益の維持を図るには困難な状態が予想されます。

このような状況の中で、当社は全社をあげてのさらなるコストダウンに取り組み、持てる資源を有効的に活用して工場の合理化を推進するだけでなく、研究分野の一層の充実も図っていく所存でございます。

第135期の業績見通しにつきましては、売上高67億円（前期比3.7%増）、経常利益7億7,000万円（前期比6.1%増）、当期純利益4億円（前期比10.6%増）を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。

取締役社長

西村 隆



# 経営方針

## ● 経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますと共に、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

## ● 利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、利益還元を行うことを基本としています。

内部保留につきましては、上記観点から配当性向は20～40%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

当社は、上記に基づきまして、配当金は、当期は年10円とさせていただきます。

## ● 中長期的な経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器システムと加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

当社の中期的な経営戦略は、毎年見直しを行っております、向こう3年間の「中期計画」に基づいて進めてまいります。

その重点課題は次のとおりであります。

- ① 今期4億円の設備投資で主に耐摩耗セラミックスと耐熱セラミックスの設備のリプレースとその能力の増強を図ります。さらに、来期以降も弾力的な設備投資を行い、新鋭設備の導入、環境保全対策、研究設備の充実を図ってまいります。

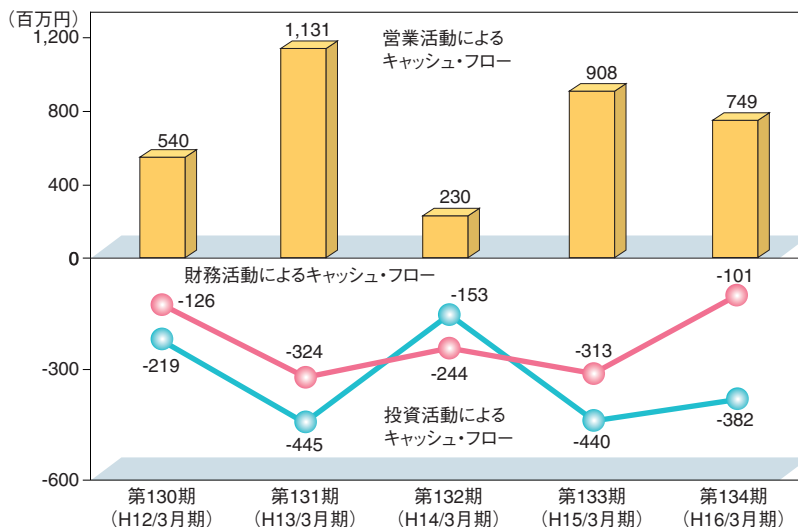
- ② ISO14001を活用し、生産合理化によるエネルギーの効率的利用を推進していくと共に環境法令を遵守いたします。
- ③ リスク管理と内部監査のさらなる充実、基礎研究の推進を図るため、外部の研究機関の協力を得て早期に成果を上げてまいります。

## キャッシュ・フロー

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加、法人税等の支払増加等の減少要因がありましたものの、税引前当期純利益と仕入債務が増加し、749百万円とまずは満足できる余剰額を確保しましたが、前期比では159百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備増強に伴う固定資産の取得による支出が386百万円と増加しましたため、△382百万円（前期比58百万円の増加）となりました。

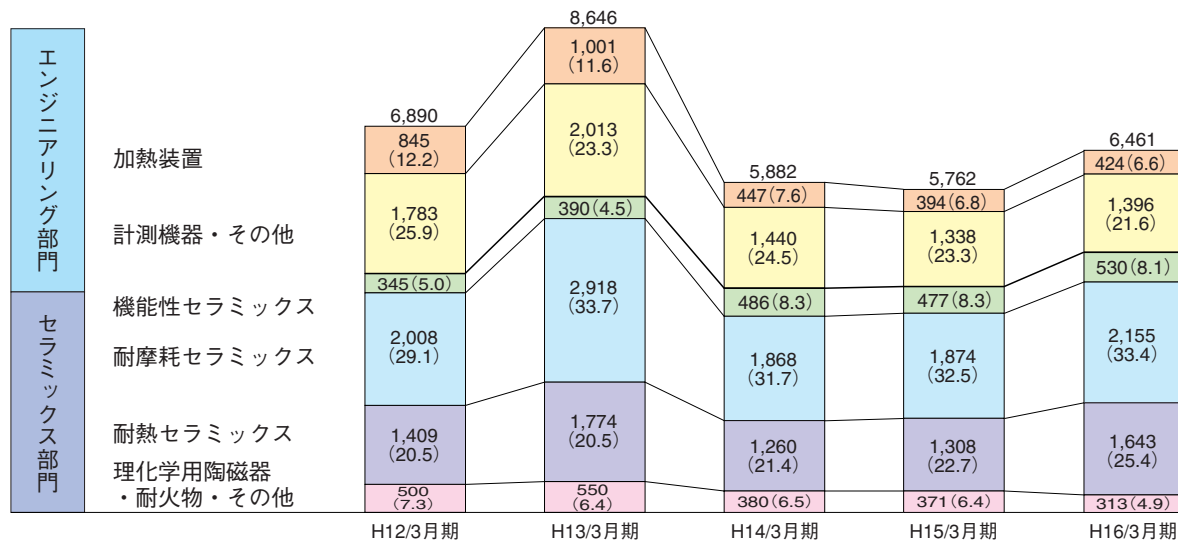
財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入金を285百万円の返済額に対し、260百万円調達しましたため、前期比212百万円増加の△101百万円となりました。



# 部門別状況

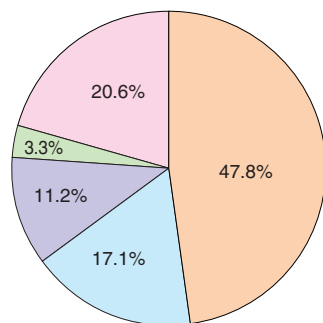
## 部門別売上高・構成比

(単位：百万円、( ) は構成比%)

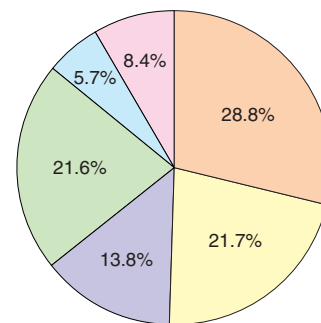


## 市場別構成比 (H16/3月期)

セラミックス部門

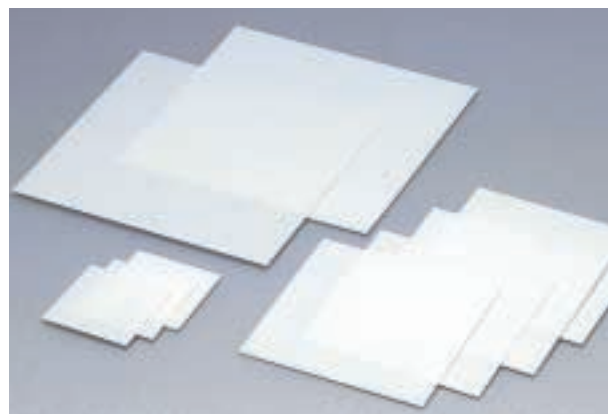


エンジニアリング部門



## ＜高性能薄板セッターの生産を開始＞

近年の電子部品は益々小型化・高機能化が革新的な速度で進んでいます。中でも誘電体・圧電体素子の熱処理は高機能化を図る上で高速焼成、雰囲気焼成が主流となっており、使用される焼成用部材としてのセッターも高品質なものが求められています。しかしながら、従来の耐火物製セッターではこれらのニーズに十分な対応ができないことから緻密質セッターへと変貌しております。緻密質セッターは重量が重く、加熱・冷却による耐久性が低いという欠点がありましたが、材料特性の向上と薄板形状化による軽量化により、これらの欠点を解消しました。当社では、薄板セッター用の専用ラインを導入し、アルミナ材質とジルコニア材質の2材質の高性能薄板セッターの生産を開始いたしました。今後、電子部品の高機能化品の需要拡大が予測され、当社アルミナ製及びジルコニア製セッターの採用増が期待されます。



## 新商品紹介

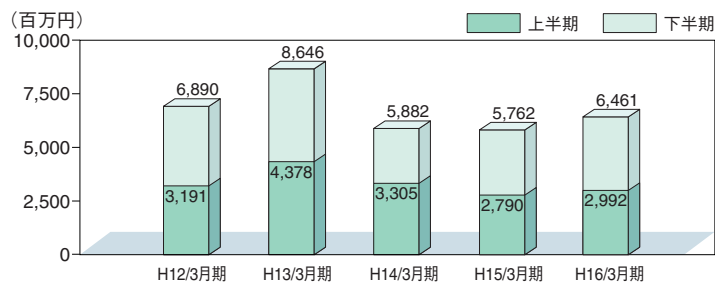
### ＜エンジン回転検出器＞

本検出器は、自動二輪及び自動車関連の点火プラグに掛ける高電圧を光信号に変換し、光ケーブルにて変換ユニットに入力した後、電気信号として出力するシステムです。機器としては、プラグヘッドセンサー、光ケーブル、変換器、ACアダプターの4点から構成されています。点火プラグより直接光信号に変換するため精度が高く、ノイズにも強く安定し、エンジン回転検出器として好評を得ております。



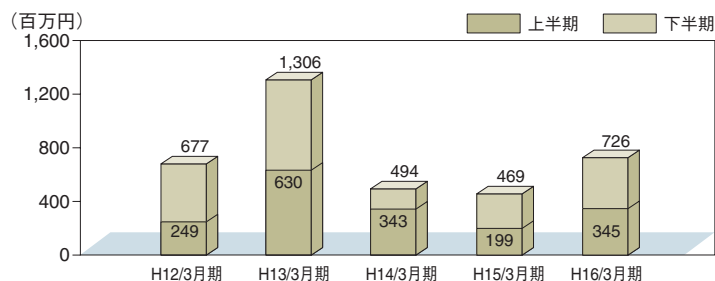
# 業績の推移

## 売上高

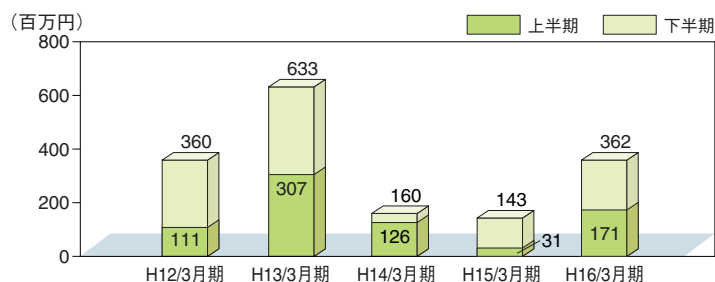


項目	平成12年3月期 第130期	平成13年3月期 第131期
受注高(千円)	7,343,976	8,833,616
売上高(千円)	6,890,315	8,646,016
経常利益(千円)	677,435	1,305,713
当期純利益(千円)	359,898	633,378
1株当たり当期純利益(円)	36.77	64.79
純資産(千円)	3,803,960	4,283,522
総資産(千円)	6,962,045	7,740,410
総資本経常利益率(%)	10.2	17.8
株主資本利益率(%)	10.0	15.7
総資本回転率(回)	1.03	1.18

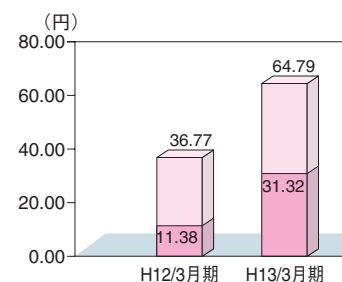
## 経常利益



## 当期純利益



## 1株当たり当期純利益

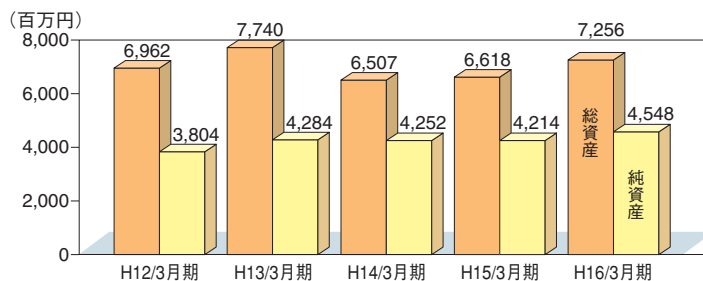


(注) 第133期から1株当たり当期純利益の計算については、当期算出しております。

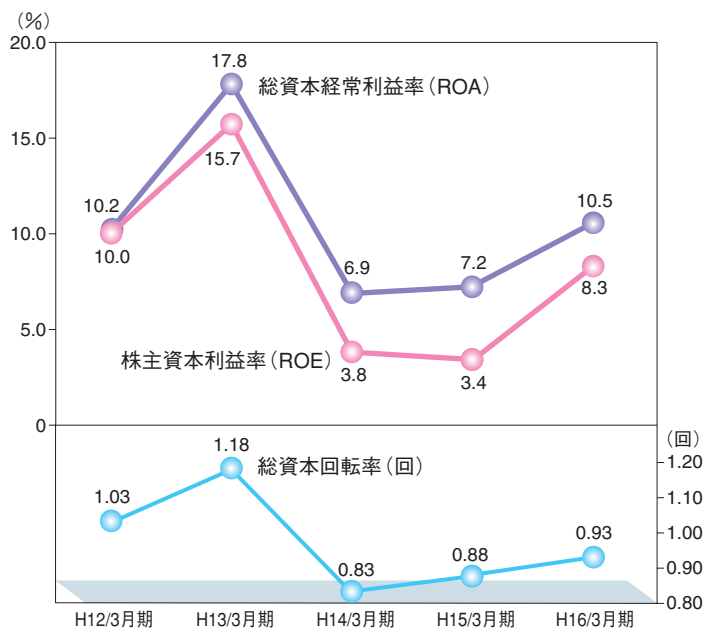


## ● 総資産・純資産

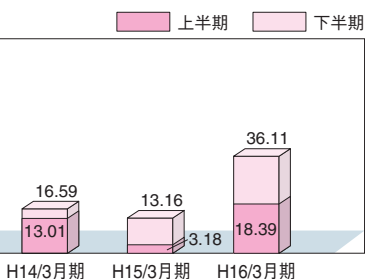
平成14年3月 第132期	平成15年3月期 第133期	平成16年3月期 第134期
5,305,469	5,766,236	6,841,196
5,881,658	5,761,551	6,460,835
493,766	469,466	725,965
160,094	142,868	361,628
16.59	13.16	36.11
4,251,584	4,214,399	4,548,359
6,507,362	6,617,943	7,255,972
6.9	7.2	10.5
3.8	3.4	8.3
0.83	0.88	0.93



## ● 株主資本利益率、総資本経常利益率と総資本回転率



純利益から普通株主に帰属しない金額を控除して



# 貸借対照表

資 産 の 部			
期 別	第134期 (平成16年3月31日現在)	第133期 (平成15年3月31日現在)	第132期 (平成14年3月31日現在)
科 目			
<b>流 動 資 産</b>	<b>4,757,448</b>	<b>4,039,291</b>	<b>4,009,917</b>
現 金 預 金	1,232,712	932,724	807,902
受 取 手 形	769,146	748,894	664,613
売 掛 金	1,612,860	1,236,517	1,102,220
有 価 証 券	101,289	101,273	101,237
商 品 ・ 製 品	411,471	470,315	609,775
その他のたな卸資産	533,380	467,727	461,920
繰 延 税 金 資 産	108,926	78,698	48,477
そ の 他	3,659	5,739	217,769
貸 倒 引 当 金	△16,000	△2,600	△4,000
<b>固 定 資 産</b>	<b>2,498,523</b>	<b>2,578,652</b>	<b>2,497,444</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,920,567</b>	<b>2,016,418</b>	<b>1,965,020</b>
建 物	877,918	778,525	829,998
機 械 装 置	764,797	844,396	785,823
土 地	72,839	72,951	72,951
そ の 他	205,012	320,545	276,246
<b>無形固定資産</b>	<b>23,202</b>	<b>39,269</b>	<b>55,336</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>554,753</b>	<b>522,964</b>	<b>477,087</b>
投 資 有 価 証 券	246,429	135,282	129,253
事 業 保 険 掛 金	57,261	92,414	85,824
破 産 債 権	—	—	0
繰 延 税 金 資 産	149,595	191,534	184,552
そ の 他	101,467	103,731	77,456
<b>資 産 合 計</b>	<b>7,255,972</b>	<b>6,617,943</b>	<b>6,507,362</b>

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第134期 (平成16年3月31日現在)	第133期 (平成15年3月31日現在)	第132期 (平成14年3月31日現在)
流動負債	2,034,256	1,702,793	1,597,223
支払手形	—	—	516,345
買掛金	1,110,440	909,338	351,270
短期借入金	—	12,000	20,000
1年以内返済予定の長期借入金	202,900	171,000	299,100
未払消費税等	47,402	24,525	—
未払法人税等	237,754	136,960	4,593
賞与引当金	204,000	181,000	170,000
その他の	231,759	267,968	235,914
固定負債	673,355	700,750	658,554
長期借入金	144,800	189,400	192,700
退職給付引当金	459,912	444,423	399,698
預り保証金	68,643	66,927	66,155
負債合計	2,707,612	2,403,544	2,255,777
資本の部			
資本金	823,240	823,240	823,240
資本剰余金	590,920	590,920	590,920
資本準備金	590,920	590,920	590,920
利益剰余金	3,196,719	2,926,476	2,877,749
利益準備金	205,810	205,810	205,810
任意積立金	2,552,000	2,463,000	2,313,000
退職手当基金	172,000	183,000	183,000
別途積立金	2,380,000	2,280,000	2,130,000
当期末処分利益	438,909	257,666	358,939
株式等評価差額金	53,826	△11,489	△22,304
その他有価証券評価差額金	53,826	△11,489	△22,304
自己株式	△116,347	△114,749	△18,021
自己株式	△116,347	△114,749	△18,021
資本合計	4,548,359	4,214,399	4,251,584
負債および資本合計	7,255,972	6,617,943	6,507,362

当期より「商法施行規則の一部を改正する省令」(平成15年9月22日法務省令第68号)による改正後の商法施行規則に基づき貸借対照表および損益計算書を作成しております。また、前期および前々期についても、同様に作成しております。

# 損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科 目		期 別	第134期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第133期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第132期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
経常損益の部	営業損益	売上高	6,460,835	5,761,551	5,881,658
		売上原価	4,596,364	4,216,392	4,303,629
		販売費および一般管理費	1,149,252	1,099,775	1,105,956
		営業利益	<b>715,218</b>	<b>445,383</b>	<b>472,072</b>
	営業外損益	受取利息および配当金	2,265	2,677	3,807
		その他の収益	17,198	27,712	27,513
		支払利息	4,467	5,293	7,039
		その他の費用	4,249	1,013	2,588
	経常利益		<b>725,965</b>	<b>469,466</b>	<b>493,766</b>
	特別損益の部	特別利益	—	1,400	11,339
特別損失		50,625	191,308	241,997	
税引前当期純利益		<b>675,339</b>	<b>279,557</b>	<b>263,107</b>	
法人税、住民税および事業税		346,700	182,000	90,000	
法人税等調整額		△32,988	△45,311	13,013	
当期純利益		<b>361,628</b>	<b>142,868</b>	<b>160,094</b>	
前期繰越利益		103,570	153,359	209,039	
利益による自己株式消却額		—	—	28,599	
中間配当金		37,289	38,561	38,594	
退職手当基金目的取崩額		11,000	—	57,000	
当期未処分利益		<b>438,909</b>	<b>257,666</b>	<b>358,939</b>	

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第134期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第133期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第132期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
当期未処分利益	438,909	257,666	358,939
合計	<b>438,909</b>	<b>257,666</b>	<b>358,939</b>
利益処分数額			
利益配当金 (1株につき配当金)	55,920 (普通4円(年10円) 創業90周年記念配当2円)	37,295 (普通4円(年8円))	38,579 (普通4円(年8円))
役員賞与金 (うち監査役賞与金)	25,000 (1,800)	16,800 (1,800)	17,000 (1,800)
別途積立金	200,000	100,000	150,000
合計	<b>280,920</b>	<b>154,095</b>	<b>205,579</b>
次期繰越利益	<b>157,989</b>	<b>103,570</b>	<b>153,359</b>

(注) 平成15年12月10日に37,289千円(1株につき4円)の中間配当を実施しました。

## 貸借対照表・損益計算書に対する注記

	第134期	第133期	第132期
1. 有形固定資産減価償却累計額	5,166,745千円	4,977,684千円	4,805,624千円
2. 担保に供している資産 建物、土地 投資有価証券	712,626千円 44,233千円	641,904千円 13,886千円	566,344千円 18,498千円
3. 国庫補助金の受入により有形固定資産の 取得価額から控除している額	43,532千円	—千円	—千円
4. 受取手形割引高	100,255千円	100,012千円	100,504千円
5. ストック・オプション制度による新株 予約権等の目的となる株式(普通株式)	240,000株	240,000株	240,000株
6. 投資有価証券を時価により評価した事により 増加した貸借対照表上の純資産の額	53,826千円	—千円	—千円
7. 1株当たり当期純利益	36円11銭	13円16銭	16円59銭

# 株式の状況 (平成16年3月31日現在)

● 会社が発行する株式の総数  
37,280,000株

● 発行済株式総数  
9,668,814株

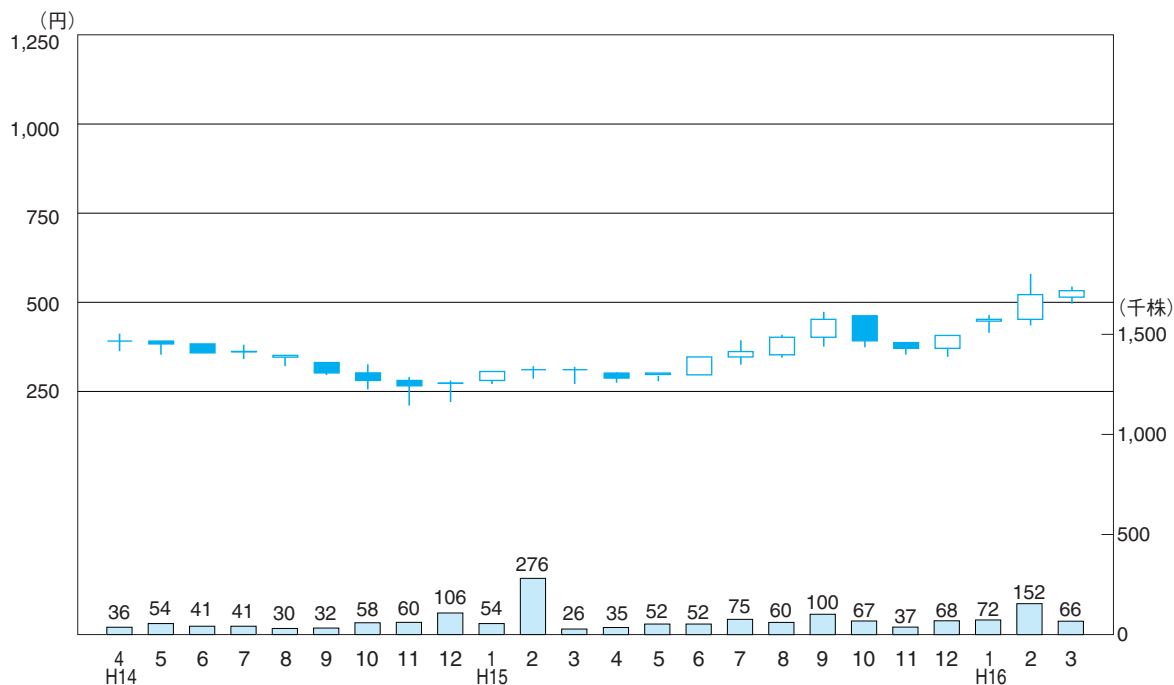
● 株主数  
2,107名

## ● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
株式会社みずほ銀行	454	4.99
朝日生命保険相互会社	321	3.53
ニッカトー取引先持株会	307	3.37
西村合資会社	270	2.97
ニッカトー従業員持株会	268	2.95
西村 明	225	2.47
入江 照 四	137	1.51
新光証券株式会社	134	1.47
西村 ゆり子	105	1.15
五日市 サト子	101	1.11

(注) 当社は自己株式348,763株を保有しておりますが、上記の株主から除いております。

## ● 株価・株式売買高



## 会社の概要 (平成16年3月31日現在)

NIKKATO

● 創業	大正2年6月	
● 資本金	8億2,324万円	
● 事業の内容	セラミックスおよび計測機器・加熱装置の製造・販売	
● 事業所	本社	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641
	東京支社	〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
	セラミックス営業本部	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681
	名古屋営業所	〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-247(第3名昭ビル) ☎(052)777-9091
	仙台営業所	〒981-3135 宮城県仙台市泉区八乙女中央1-7-5 八乙女オフィスビル ☎(022)776-7651
	水戸営業所	〒310-0801 茨城県水戸市桜川1丁目5番3号(岩上ビル) ☎(029)224-7512
	富山営業所	〒939-8211 富山県富山市二口町5-4-1(テフィスC) ☎(076)421-0770
	九州営業所	〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸2丁目4番21号(ワカバビル) ☎(092)736-1285
	堺工場	〒590-0001 大阪府堺市遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643
	東山工場	〒599-8247 大阪府堺市東山670番地 ☎(072)278-0385

## 役員 (平成16年6月25日現在)

取締役会長	河波利夫	取締役	紀ノ岡隆一郎
代表取締役社長	西村隆	取締役	清水奉明
代表取締役	向井勇司	常勤監査役	東紘一
取締役相談役	西村明	※監査役	小林淑人
取締役	東秀雄	※監査役	中安克志
取締役	山本幸雄		

(注) ※印の監査役は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

会計監査人 清稜監査法人

## 株主メモ

---

決 算 期 3月31日

配 当 金 受 領 利益配当金 3月31日

株 主 確 定 日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

名義書換代理人 大阪府中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス

同事務取扱場所 〒541-8583  
大阪府中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス  
本社証券代行部  
TEL 0120-255-100

同 取 次 所 株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

公告掲載新聞 日本経済新聞

※貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス  
<http://www.nikkato.co.jp/zaimu/zaimu.htm>